

平成30(2018)年度 第4回学校運営協議会 議事録

1 日 時 平成31(2019)年2月22日(金) 14:30～16:30

2 場 所 日光明峰高等学校 メディアI教室

3 出席者 委員10名(4名欠席)
その他栃木県教育委員会事務局から4名、本校事務局職員8名

4 司 会 本校教頭

5 次 第

- (1)開会
- (2)会長あいさつ
- (3)校長あいさつ
- (4)第2回学校関係者評価委員会(下記6の通り)
- (5)報告・協議(下記7の通り)
- (6)その他(下記8の通り)
- (7)閉会

6 第2回学校関係者評価委員会

[事務局]

「学校評価シート」は全体的に高評価。「教員向け自己評価報告・分析」は全体的に平均点が下がった。昨年度も今年度も「地域連携に関わる」項目が最下位。これは係以外の教員が直接関わる機会がなかったためだと考えられる。また、クラス減に伴う教員減のため、1人あたりの業務が増えたことが関係しているのではないかと推察される。

「生徒アンケート」では全質問に8割の生徒が、「保護者アンケート」でも9割の保護者がポジティブな回答をしている。また、保護者アンケート回収率が20%上昇した。

[委員]

県立高校の最終希望者結果が発表になり、60名定員の中29名と残念な結果だった。しかし、このようなアンケート結果が出て嬉しい。来年度の入試に期待。

[委員]

生徒と教員のアンケートで「良かった点」が一致しているのは良い結果だ。特に進路の評価がAで、3年生は進路実現ができたのだと思う。

[委員]

保護者から「日光明峰高校に入学させて良かった」の項目で高い数字が得られたのは良いことで、売りになるはず。何が良い評価に繋がったのか、掘り下げていくことが大切だ。

[委員]

保護者の満足度が高いのに、なぜ日光明峰高校の良さが伝わらないのか疑問。保護者の満足度も高く、生徒一人ひとりへの手のかけ方は丁寧だが、それが外部に伝わっていない。そこは課題だ。

[会長]

保護者が入学させて良かったという評価は何にも代え難い。数字だけでなく、具体的にどこが良かったのか、また3年前などとの比較など、長期的なデータがあると良いかも。

[校長]

特色選抜で20名合格、今回の出願者が29名で昨年度よりも良くなっている。PRの結

果が少しずつ現れ始めている。満足度が保護者90%以上に対して、生徒は78%止まりなので、その点は伸ばしていきたい。

7 報告・協議

○今年度のまとめ・次年度に向けて

・イメージ戦略専門部会から

[事務局]

①「日光明峰だより」についてはスポンサーから資金を集め、同窓会名義で発行。日光市内の中学校に配布した。

②生徒の寮が完成（運営は民間）。来年度、寮が完成したというPRを発信する。

・学校から

[校長]

①学校PR動画を作成した。

②とちぎテレビで放映された本校の紹介映像を、一日体験学習で保護者へ見せた。

③「日光明峰だより」を10月に全世界帯へ配布した。

④学校魅力化推進費250万円で、パワーマックス、液晶テレビ、タブレット等を購入し、活用している。

・日光市から

[委員]

日光市としてできることを4つ紹介したい。

①イベントでの広報など、イメージアップに取り組みたい。

②全国募集した生徒のための寮だが、今年度は備品購入費として100万円補助、平成31年度も運営が安定するまで100万円補助、2、3年内も安定的に、継続的に運営できるような補助を検討する。

③通学費（主にバス代金）の検討をする。

④学校の魅力度をアップする支援をする。

[会長]

委員の方から、こんな取り組みもできたという意見があればお願いしたい。

[委員]

同窓会でSNSのアカウントを作成する予定。また、寮のベッドについても資金面での支援を検討中。

○再募集について

[学校教育課]

再募集の近隣の状況紹介。

[会長]

栃木県で制度上、再募集は可能か。

[校長]

教育課長へ要望は出した。返事は未定。

[委員]

支援チームとしては、意見を教育委員会の規則の中で「意見の聴取」というものがある。運営委員は意見を述べることは制度上可能なので、校長の承認を得て報告書を作成、県へ提出してもらおう。規則として可能なのかということに関しては、県全体の動きなので、持ち帰ってこれから揉んでいきたい。

[会長]

学校運営協議会として提案してみてもと思うがどうか。

[委員]

日光市議会では2年前に教職員組合から二次募集の要望が出たが、一次募集で日光明峰高校以外の高校に流れてしまうのではという意見から否決された。もし行うのであれば、特例校のみで実施すべきではないか。特別な措置として行うべきだと思う。

[会長]

方向性としては、再募集の仕組みを特例校に限り実施してほしいという提案をするということでした。→承認

○アイスホッケー、スピードスケートについて

[委員]

アイスホッケー、スピードスケートでは、日光東中から多くの選手が県外へ流出。県外募集も必要だが、地元の子どもたちに選んでもらえるようなシステムが必要。アイスホッケー部などは、国体準優勝という実績がある。中学校と連携して、中学校から日光で一貫して指導するという事はできないか。卓球やバドミントンは中学生からアカデミーを作り練習させている状況もある。話が進めば、日光アイスバックスの下部組織チームとして中学生を集めて、日光明峰高校への進学を勧めていくことができる。

[会長]

4月から新たに部会を作り、話しあっていきたい。

[委員]

部会を作る上で、アイスホッケー連盟も入れて話しあいたい。

○次年度学校経営方針の策定に向けて

[校長]

努力点にある地域連携活動の3番目「地域連携活動の充実」に関しては、新たに加えた。これをベースに来年度の学校経営方針を定めていくので、意見をいただければと思う。

[委員]

進路指導で、就職についての方向性が強いように感じる。進学面についての目標が薄いように感じる。

[委員]

健康・安全・防災教育の充実のところで「自他の生命を尊重する態度の育成」という文言は違和感がある。態度ではなく心の問題で、姿勢とか考え方の方が良い。

8 その他

○「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」について

[事務局]

文部科学省の事業にエントリーした。SDGsの流れに則り、日光を盛り上げるという内容。生徒自ら課題を発見、解決するための探求をしていくもので県に提出したが落選。予算はつかないが取り組んでいきたい。

○次年度の協議・専門部会の日程について

[校長]

委員の皆さんは2年契約なので、組織的には次年度も継続していただきたい。委員は15名なので1名増やすことができる。小中学校の保護者に入ってもらいたい。また、次年度も4回という実施回数で良いか。→承認

9 閉会